

年	組	名前
---	---	----

# 温泉子どもの誇りに

## 県薬剤師会が本発刊

県薬剤師会(安東哲也会長)は、「子どもたちが温泉を誇りに思い、未来へ残してほしい」との願いを込めた本「おおいたの温泉の顔」を発刊、県内の学校や図書館約千カ所に寄贈した。同会は温泉の成分検査しており、その際に集めたデータと県の持つデータを活用した。



④本を発刊した県薬剤師会の安東哲也会長。県薬剤師会センター  
⑤37温泉に含まれる各成分を顔のパーツに例えてデザインした「温泉の顔」



A4変形判、112ページでフルカラー。温泉を約50年研究している由佐悠紀(京大名言教授)が監修した。目玉は主な37温泉に含まれる各成分を顔のパーツに例えてデザインした「温泉の顔」。鉄輪

県薬剤師会は、「おおいたの温泉の顔」を発刊、県内の学校や図書館約千カ所に寄贈しました。

①県薬剤師会が本発刊に込めた願いとは、何でしょう。

## 成分、「顔」に例えて表現

### 「身近に感じてほしい」

温泉(別府市)はナトリウムイオンを表す黒目が顔を大きくはみ出し、高温なので真っ赤な顔。塚野鉱泉(大分市)は成分含有量が多く、温度が低い冷鉱泉のため、水色の大きな顔を描いた。由佐名言教授ら専門家4人が温泉の歴史や研究について語った「座談会」を収録。別府温泉は「豊後国風土記」に記述があり奈良時代までさかのぼることや、大分県に温泉が多いのは火山活動が活発なことなどを指摘している。

巻末は資料編とし、成分別に含有量を比較するランキングを掲載。泉質や掘削深度などあらゆる角度から温泉を分析、各市町村の特徴が分布図で分かる。「教えて!おんせん博士」のコーナーでは「温泉が出なくなることはない」といった素朴な10の疑問に答えた。

由佐名言教授は「顔」することでバラエティーに富む大分の温泉がうまく表現できた。温泉に関心を持つきっかけになってほしい」と出来栄に満足。安東会長は「おんせん県」の子どもたちに温泉を身近に感じてほしい」と話している。

(2013年6月24日夕刊11面)

②鉄輪温泉、塚野鉱泉はどんな「温泉の顔」でしょう。それは、こういった特徴からでしょう。

③寄贈された本を見て、どの温泉が気に入ったか、それはなぜか、意見を出し合ってみよう。